

2017年度 自己評価結果公表シート

平安女学院大学附属幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の愛の精神を教育の基本に据え、「自分のことばかりでなく他人のことも考えることのできる子ども」を目標にしています

- ① 自然とたくさん触れ合うなかで、子どもが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造力をもっていきいきと活動する
- ② いろいろな人と一緒に過ごすなかで、自分と友だちや他の人々との違いを認めるとともに、信頼を持ってともに生活する
- ③ 絵本とたくさん触れ合うことで、豊かな感性をはぐくむ

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園児一人ひとりがあるままの自分を表現し、互いが認め合って過ごす事のできる環境を整える
- ・豊かな自然環境の中で、さまざまな活動を楽しみながら、自然に対する興味や関心を深める
- ・大学教員との連携を深め、保育の質の向上を図る

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子どもたちが充実感を持って遊ぶことのできる、場を整える	・3歳児の保育室を拡充し、遊びの充実を図った
個別支援の必要な子どもたちが過ごしやすいような、保育環境を整える	・訪問支援や交流会などを通して、関係機関との連携を図る ・専門的な助言を受け、知識を深め、環境構成を工夫した
ニーズに合わせた、子育て支援の充実を図る	・未就園児親子登園クラスの遊びの充実のため、遊具を見直した ・預かり保育の利用者増加に伴い、保育者を増員し、安全に遊ぶことができるように整えた
危機管理、安全管理を充実させる	・高槻警察による交通安全教室を開催し、園児の交通安全に対する意識を高めた ・避難訓練を行う中で、問題点に気づき、改善に取り組んだ

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・園児一人ひとりについて、保育者間で理解を深めることで、子どもたちの思いに寄り添うことができた
- ・関係機関との連携を図ることにより保育を安定し、見通しを持って進めることができた

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼保連携型認定こども園への移行のため、準備を進める	<ul style="list-style-type: none">・保護者対象の説明会を開き、丁寧に対応する・認定こども園の制度や内容に関する情報を収集し、保育者間で共有する
多角的な視点から活動内容を見直し、保育内容に反映させる	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちの遊びをさまざまな方法で、具体的に記録する・記録したものを分析し、保育環境の充実に活かす

6、学校関係者の評価

【保育について】

- ・子どもの個々のペースに合わせた保育を実践され、全体へもつなげるよう、促して下さる
- ・問題やケンカが起こっても、子ども同士で考え、解決する時間を与えて常に見守って下さる
- ・保護者に安心感を与える、オープンな保育が行われている
- ・子ども一人ひとりが、幼稚園は楽しい場所と思わせてくれるような、意見を尊重した園生活を送っている

【教員の資質について】

- ・クラス担当に関係なく、全ての保育者が全体に目を向けている
- ・経験豊かで知識豊富な先生が多く、保護者も頼れて安心できる
- ・保護者の相談などに対して、親身になってくれるので、常に、意見交換しやすい環境を整えている

【行事について】

- ・子どもたちの成長に合った行事が多く、興味を持って取り組める内容が多い
- ・季節を感じられるよう工夫された行事が設けられていて、家族でも参考になる
- ・在園児だけでなく、保護者、兄弟姉妹、その他の家族も楽しく参加できる行事もあり、有難い

【その他】

- ・特になし

【改善してほしいこと】

- ・英語、体操など習い事的な授業を取り入れてほしい
- ・給食にしてほしい
- ・連絡網を一斉メールにしてほしい

7、財務状況

公認会計士による監査の結果、適正であると認められている。